

# 令和7年度 第2回 「選挙を考える大学生のつどい」



令和8年2月20日に、大学生等の皆さんとともに「選挙を考える大学生のつどい」を開催しました。熱気あふれる議論の中から見えてきた、若者の選挙へのリアルな声と、今後の選挙啓発へのヒントをご紹介します！



## 【前半のテーマ】衆議院議員総選挙を振り返る

### 1. 衆院選で分かりにくかったことは？

- 友人から選挙についての疑問を聞くことが少なかった。前回の選挙よりも情報量が多かったからかも
- 衆議院解散から投票日までのスケジュールが早すぎて戸惑った
- 小選挙区・比例代表・国民審査と3種類あったので、投票用紙の記入に迷った  
⇒投票手続きに関するきめ細やかな案内が必要

### 2. 衆院選の情報をどう探した？

- SNSは流れてくる情報を認識する程度で、自分から探しには行かなかった
- 地元新聞や選挙公報で候補者の情報を収集した
- 大学の活動で地方議員と交流した
- 友人との情報交換で演説会を知り、実際に聞きに行った

### 3. 自ら探さなくても、よく見聞きした情報は？

- SNS のおすすめ欄
- 新聞広告
- 大学近くでの街頭演説
- ポスター掲示板のポスター

### 4. 投票した？しなかった？投票するその決め手は？

【投票した学生】

- いつも行っているのでも今回も行った(家族と一緒に)
- 習慣や家族の影響が大きいのでは

【投票しなかった学生】

- 地元から住民票を移していないため、投票が難しかった
- 遠方からの投票可能なことは知っていたが、手続き方法が分からなかった

### 5. 投票したい候補者を決めるために参考になったものは？

- 選挙公報
- 講演会と友人や家族との話から、消去法で決めた
- 当選後の公約や今までの取組みから、自分が将来的にプラスになる人(ガソリン費の削減等)を選んだ
- 自分の考えと合う政党をフローチャート式で見つけてくれるサイト

### 6. 衆院選後の今、感じていることは？

- 与党が過半数を超え、与党の案が議会で通りやすくなるのか？
- SNS で盛り上がっていたが、投票率はそこまで上がっていない
- それぞれの政党がどんな思想を持っているのか、もっと知りたい

## 【後半のテーマ】北九州市長選挙に向けて

### 1. わかりやすく情報発信した方がいいことは？

- 自治体によっては、投票時間が公式の時間よりも繰り上げて閉まることがあること
- 投票ハガキを持っていなくても、身分証があれば投票できること
- 住民票を移さなくても居住地で投票ができること(不在者投票)
- 同世代からのアプローチが若年層にとっては響きやすい

## 2. 投票場所を増やせば投票率は上がる？どこがいい？

### 【場所のアイデア】

- 大学のキャンパス
- 主要駅、ショッピングモール(小倉北区:セントシティ、小倉南区:サンリブシティでは既に実施されている)
- 場所の確保だけでなくバリアフリー対応は必ず行ってほしい

### 【投票率は上がると思うか】

- 場所を増やせばよいという問題ではない  
⇒他のところにお金を使ってほしい
- 大学内に設置した場合、数は増えるが、選挙についての知識があまりない人の一票が投じられる可能性があるのではないか

## 3. 啓発動画・ポスター・SNS など、これまでの振り返りと次へのアイデア

- キャラクターとのコラボは目に留まりやすい
- 選挙教育の強化:  
⇒模擬選挙(出前授業、大学での授業必修化など)
- 幼少期からの意識付け  
⇒年齢が上がるにつれてステップアップさせる長期的な視点での教育が重要

## 4. 前回の市議選のキャッチコピー「投票は愛だ。」を振り返って

- 選挙へ行かないことへの危機感を煽るような文言を使用するのもいいのは
- 選挙の標語を公募し、アンケート調査を行って選ばれたものを使用する

## 5. 若い世代が参加できる、選挙への関心・投票率 UP 行動は？

- 選挙前に本つどいのようなディスカッションできる場を開催する  
⇒自分自身も考えの整理がつきやすいため
- 出前授業等で、大学生が小中学生へ選挙について学んだことを教える企画を実施
- 独自のハッシュタグを作成し、意見を可視化させる  
⇒若者目線の情報を共有し、議論を活性化させる

